

表4 保健所が市町村母子保健計画策定を支援したかどうかと関連する要因(先駆的活動についてのニーズ・実施希望・実施可能性)

	支援無し	支援あり	合計(%)	有意確率(カイ2乗検定)
性・エイズ・STD				
ニーズがあるか				
無回答	7(4.5)	8(6.9)	15(5.6)	
大いにある	48(31.2)	57(49.1)	105(38.9)	
少しある	80(51.9)	41(35.3)	121(44.8)	
あまりない	16(10.4)	10(8.6)	26(9.6)	
全くない	2(1.3)	0(0.0)	2(0.7)	
既に実施	1(0.6)	0(0.0)	1(0.4)	0.026397
エンゼルプランにおける市町村支援				
ニーズがあるか				
無回答	17(11.0)	6(5.2)	23(8.5)	
大いにある	27(17.5)	43(37.1)	70(25.9)	
少しある	63(40.9)	42(36.2)	105(38.9)	
あまりない	40(26.0)	23(19.8)	63(23.3)	
全くない	7(4.5)	2(1.7)	9(3.3)	0.003869
実施したいか				
無回答	22(14.3)	13(11.2)	35(13.0)	
是非やりたい	20(13.0)	36(31.0)	56(20.7)	
できればやりたい	94(61.0)	56(48.3)	150(55.6)	
やりたくない	16(10.4)	9(7.8)	25(9.3)	
実施している	2(1.3)	2(1.3)	4(1.5)	0.011487
活動の評価				
ニーズがあるか				
無回答	12(7.8)	5(4.3)	17(6.3)	
大いにある	60(39.0)	57(49.1)	117(43.3)	
少しある	48(31.2)	45(38.8)	93(34.4)	
あまりない	28(18.2)	9(7.8)	37(13.7)	
全くない	6(3.9)	0(0.0)	6(2.2)	0.008184
実施可能かどうか				
無回答	18(11.7)	13(11.2)	31(11.5)	
実施可能である	43(27.9)	44(37.9)	87(32.2)	
可能だが難しい	80(51.9)	58(50.0)	138(51.1)	
不可能である	12(7.8)	1(0.9)	13(4.8)	
実施している	1(0.6)	0(0.0)	1(0.4)	0.050318
研修をとおした市町村支援				
ニーズがあるか				
無回答	13(8.4)	5(4.3)	18(6.7)	
大いにある	62(40.3)	70(60.3)	132(48.9)	
少しある	59(38.3)	36(31.0)	95(35.2)	
あまりない	17(11.0)	5(4.3)	22(8.1)	
全くない	3(1.9)	0(0.0)	3(1.1)	0.007028
実施したいか				
無回答	18(11.7)	9(7.8)	27(10.0)	
是非やりたい	54(35.1)	63(54.3)	117(43.3)	
できればやりたい	72(46.8)	41(35.3)	113(41.9)	
やりたくない	9(5.8)	1(0.9)	10(3.7)	
既に実施している	1(0.6)	2(1.7)	3(1.1)	0.007768

表5 保健所が市町村母子保健計画の評価を支援したかどうかと関連する要因(母子保健活動)

	支援無し	支援あり	合計(%)	有意確率(カイ2乗検定)
思春期における保健・福祉体験学習				
保健所で実施	20(11.1)	3(3.3)	23(8.5)	0.077890
市町村を支援	6(3.3)	7(7.8)	13(4.8)	
一部の市町村を支援	32(17.8)	16(17.8)	48(17.8)	
実施・支援無し	122(67.8)	64(71.1)	186(68.9)	
母親学級				
保健所で実施	8(4.4)	1(1.1)	9(3.3)	0.077812
市町村を支援	6(3.3)	2(2.2)	8(3.0)	
一部の市町村を支援	2(1.1)	5(5.6)	7(2.6)	
実施・支援無し	164(91.1)	82(91.1)	246(91.1)	
乳幼児健康診査(3~4ヶ月児)				
無回答	6(3.3)	1(1.1)	7(2.6)	0.023551
保健所で実施	12(6.7)	0(0.0)	12(4.4)	
市町村を支援	19(10.6)	11(12.2)	30(11.1)	
一部の市町村を支援	28(15.6)	24(26.7)	52(19.3)	
実施・支援無し	115(63.9)	54(60.0)	169(62.6)	
乳幼児健康診査(1歳6ヶ月児)				
無回答	6(3.3)	1(1.1)	7(2.6)	0.089744
保健所で実施	11(6.1)	0(0.0)	11(4.1)	
市町村を支援	16(8.9)	10(11.1)	26(9.6)	
一部の市町村を支援	33(18.3)	22(24.4)	55(20.4)	
実施・支援無し	114(63.3)	57(63.3)	171(63.3)	
乳幼児健康診査(3歳児)				
無回答	6(3.3)	1(1.1)	7(2.6)	0.075703
保健所で実施	11(6.1)	0(0.0)	11(4.1)	
市町村を支援	25(13.9)	15(16.7)	40(14.8)	
一部の市町村を支援	40(22.2)	27(30.0)	67(24.8)	
実施・支援無し	98(54.4)	47(52.2)	145(53.7)	
新生児訪問指導				
無回答	6(3.3)	1(1.1)	7(2.6)	0.022184
保健所で実施	14(7.8)	0(0.0)	14(5.2)	
市町村を支援	11(6.1)	9(10.0)	20(7.4)	
一部の市町村を支援	4(2.2)	5(5.6)	9(3.3)	
実施・支援無し	145(80.6)	75(83.3)	220(81.5)	
乳幼児訪問指導				
無回答	8(4.4)	1(1.1)	9(3.3)	0.015250
保健所で実施	35(19.4)	8(8.9)	43(15.9)	
市町村を支援	27(15.0)	24(26.7)	51(18.9)	
一部の市町村を支援	7(3.9)	7(7.8)	14(5.2)	
実施・支援無し	103(57.2)	50(55.6)	153(56.7)	
乳幼児・学童の生活習慣病対策				
無回答	9(5.0)	2(2.2)	11(4.1)	0.014272
保健所で実施	49(27.2)	31(34.4)	80(29.6)	
市町村を支援	8(4.4)	9(10.0)	17(6.3)	
一部の市町村を支援	14(7.8)	14(15.6)	28(10.4)	
実施・支援無し	100(55.6)	34(37.8)	134(49.6)	
乳幼児事故防止				
無回答	9(5.0)	1(1.1)	10(3.7)	0.019876
保健所で実施	33(18.3)	24(26.7)	57(21.1)	
市町村を支援	5(2.8)	8(8.9)	13(4.8)	
一部の市町村を支援	4(2.2)	0(0.0)	4(1.5)	
実施・支援無し	129(71.7)	57(63.3)	186(68.9)	
健康診査などの精度管理				
無回答	8(4.4)	1(1.1)	9(3.3)	
保健所で実施	29(16.1)	17(18.9)	46(17.0)	
市町村を支援	30(16.7)	28(31.1)	58(21.5)	

一部の市町村を支援 実施・支援無し	7(3.9) 106(58.9)	3(3.3) 41(45.6)	10(3.7) 147(54.4)	0.038639
----------------------	-----------------------	----------------------	------------------------	----------

表6 保健所が市町村母子保健計画策定を支援したかどうかと関連する要因(市町村支援の実態)

	支援無し	支援あり	合計(%)	有意確率(カイ2乗検定)
市町村母子保健計画の策定支援				
企画を支援	56(31.1)	60(66.7)	116(43.0)	0.000000
心身障害児の療育システム確立				
市町村支援無し	61(33.9)	20(22.2)	81(30.0)	0.048607
企画を支援	19(10.6)	16(17.8)	35(13.0)	0.095815
評価を支援	4(2.2)	11(12.2)	15(5.6)	0.000721
情報・データ提供	31(17.2)	35(38.9)	66(24.4)	0.000094
システム作り支援	57(31.7)	38(42.2)	95(35.2)	0.086871
慢性疾患児療育システム確立				
評価を支援	0(0.0)	6(6.7)	6(2.2)	0.000460
情報・データ提供	20(11.1)	23(25.6)	43(15.9)	0.002230
システム作り支援	25(13.9)	21(23.3)	46(17.0)	0.051671
専門的業務の支援				
市町村支援無し	68(37.8)	15(16.7)	83(30.7)	0.000394
企画を支援	11(6.1)	16(17.8)	27(10.0)	0.002592
マンパワー支援	12(6.7)	13(14.4)	25(9.3)	0.037667
市町村職員への研修				
企画を支援	60(33.3)	20(22.2)	80(29.6)	0.059451
マンパワー支援	16(8.9)	17(18.9)	33(12.2)	0.018036
評価を支援	9(5.0)	18(20.0)	27(10.0)	0.000108
情報・データ提供	53(29.4)	42(46.7)	95(35.2)	0.005214
システム作り支援	13(7.2)	15(16.7)	28(10.4)	0.016415
調査・研究				
市町村支援無し	69(38.3)	22(24.4)	91(33.7)	0.022850
企画を支援	23(12.8)	28(31.1)	51(18.9)	0.000286
評価を支援	13(7.2)	18(20.0)	31(11.5)	0.001905
情報・データ提供	64(35.6)	44(48.9)	108(40.0)	0.035015
システム作り支援	4(2.2)	9(10.0)	13(4.8)	0.004889
市町村母子保健連絡協議会				
企画を支援	23(12.8)	28(31.1)	51(18.9)	0.000286
マンパワー支援	16(8.9)	17(18.9)	33(12.2)	0.018036
評価を支援	15(8.3)	26(28.9)	41(15.2)	0.000009
システム作り支援	15(8.3)	19(21.1)	34(12.6)	0.002851

表7 保健所が市町村母子保健計画策定を支援したかどうかと関連する要因(母子保健活動の問題点の認識)

	支援無し	支援あり	合計(%)	有意確率(カイ2乗検定)
市町村スタッフのニーズがわからない				
無回答	10(5.6)	0(0.0)	10(3.7)	
そう思う	54(30.0)	26(28.9)	80(29.6)	
そう思わない	116(64.4)	64(71.1)	180(66.7)	0.066371
専門的技術・知識が足りない				
無回答	6(3.3)	1(1.1)	7(2.6)	
そう思う	109(60.6)	44(48.9)	153(56.7)	
そう思わない	65(36.1)	45(50.0)	110(40.7)	0.066373
市町村事業の企画に関われない				
無回答	10(5.6)	0(0.0)	10(3.7)	
そう思う	96(53.3)	40(44.4)	136(50.4)	
そう思わない	74(41.1)	50(55.6)	124(45.9)	0.013122

表8 保健所が市町村母子保健計画策定を支援したかどうかと関連する要因(先駆的活動についてのニーズ・実施希望・実施可能性)

	支援無し	支援あり	合計(%)	有意確率(カイ2乗検定)
外国人母子対策				
実施したいか				
無回答	30(16.7)	8(8.9)	38(14.1)	
是非やりたい	9(5.0)	3(3.3)	12(4.4)	
できればやりたい	73(40.6)	52(57.8)	125(46.3)	
やりたくない	68(37.8)	27(30.0)	95(35.2)	0.049669
実施可能か				
無回答	34(18.9)	8(8.9)	42(15.6)	
実施可能	15(8.3)	11(12.2)	26(9.6)	
可能だが難しい	73(40.6)	51(56.7)	124(45.9)	
不可能	58(32.2)	20(22.2)	78(28.9)	0.016424
アレルギー疾患				
ニーズがあるか				
無回答	12(6.7)	2(2.2)	14(5.2)	
大いにある	36(20.0)	26(28.9)	62(23.0)	
少しある	89(49.4)	54(60.0)	143(53.0)	
あまりない	39(21.7)	5(5.6)	44(16.3)	
全くない	3(1.7)	3(3.3)	6(2.2)	
既に実施	1(0.6)	0(0.0)	1(0.4)	0.005744
実施したいか				
無回答	25(13.9)	4(4.4)	29(10.7)	
是非やりたい	21(11.7)	11(12.2)	32(11.9)	
できればやりたい	91(50.6)	57(63.3)	148(54.8)	
やりたくない	41(22.8)	16(17.8)	57(21.1)	
実施中	2(1.1)	2(2.2)	4(1.5)	0.091722
実施可能か				
無回答	33(18.3)	5(5.6)	38(14.1)	
実施可能	46(25.6)	28(31.1)	74(27.4)	
可能だが難しい	76(42.2)	48(53.3)	124(45.9)	
不可能	25(13.9)	9(10.0)	34(12.6)	0.018825
こころの問題				
実施可能か				
無回答	30(16.7)	5(5.6)	35(13.0)	
実施可能	63(35.0)	37(41.1)	100(37.0)	
可能だが難しい	78(43.3)	47(52.2)	125(46.3)	
不可能	9(5.0)	1(1.1)	10(3.7)	0.020407
子どもの生活習慣病				
実施したいか				
無回答	27(15.0)	10(11.1)	37(13.7)	
是非やりたい	32(17.8)	22(24.4)	54(20.0)	
できればやりたい	85(47.2)	51(56.7)	136(50.4)	
やりたくない	35(19.4)	6(6.7)	41(15.2)	
実施中	1(0.6)	1(1.1)	2(0.7)	0.044685
-90				
小児慢性疾患				
実施可能か				
無回答	19(10.6)	5(5.6)	24(8.9)	
実施可能	33(18.3)	30(33.3)	63(23.3)	
可能だが難しい	108(60.0)	52(57.8)	160(59.3)	
不可能	20(11.1)	3(3.3)	23(8.5)	0.008161
母子保健計画・エンゼルプラン				
ニーズがあるか				
無回答	18(10.0)	5(5.6)	23(8.5)	
大いにある	40(22.2)	30(33.3)	70(25.9)	
少しある	63(35.0)	42(46.7)	105(38.9)	
あまりない	51(28.3)	12(13.3)	63(23.3)	
全くない	8(4.4)	1(1.1)	9(3.3)	0.006879

表8 保健所が市町村母子保健計画策定を支援したかどうかと関連する要因(つづき)

	支援無し	支援あり	合計(%)	有意確率(カイ2乗検定)
実施したいか				
無回答	27(15.0)	8(8.9)	35(13.0)	
是非やりたい	27(15.0)	29(32.2)	56(20.7)	
できればやりたい	102(56.7)	48(53.3)	150(55.6)	
やりたくない	21(11.7)	4(4.4)	25(9.3)	
実施中	3(1.7)	1(1.1)	4(1.5)	0.013762
実施可能か				
無回答	32(17.8)	9(10.0)	41(15.2)	
実施可能	45(25.0)	39(43.3)	84(31.1)	
可能だが難しい	85(47.2)	39(43.3)	124(45.9)	
不可能	18(10.0)	2(2.2)	20(7.4)	
実施中	0(0.0)	1(1.1)	1(0.4)	0.003060
活動の評価				
ニーズがあるか				
無回答	13(7.2)	4(4.4)	17(6.3)	
大いにある	69(38.3)	48(53.3)	117(43.3)	
少しある	61(33.9)	32(35.6)	93(34.4)	
あまりない	31(17.2)	6(6.7)	37(13.7)	
全くない	6(3.3)	0(0.0)	6(2.2)	0.019085
実施可能か				
無回答	23(12.8)	8(8.9)	31(11.5)	
実施可能	45(25.0)	42(46.7)	87(32.2)	
可能だが難しい	100(55.6)	38(42.2)	138(51.1)	
不可能	12(6.7)	1(1.1)	13(4.8)	
実施中	0(0.0)	1(1.1)	1(0.4)	0.001570

3. 人口10万人当たりの保健婦数別にみた保健所事業の特徴

保健所の管内人口10万人当たりの保健所保健婦数を、4人未満、7人未満、10人未満、10人以上の4つに分類し、保健婦数と母子保健事業の実施状況についての関連を分析した。

1 母性保健

母性保健の領域で、保健婦数と事業の実施の有無との関連をみると、全体的な傾向としては、母子保健事業を保健所が実施しているのは、人口に対する保健婦数が多いところで、実施も、支援もしていないのは、保健婦数が少ないところであった。

各事業別に保健婦数との関連をみると、妊婦訪問指導で有意差が認められ(表1)、「保健所で実施している」と回答しているところが、保健婦数の多い保健所ほど多く、また、実施・支援していないとした保健所は、保健婦数の少ない保健所ほど多くなっていた。

一方、保健婦数との関連を全く示さない事業は、「更年期の保健指導・相談」「学校での性教育・エイズ教育」「学校での防災教育」であった。

母性保健の領域では、概ね、保健婦数の多い保健所ほど直接事業を実施することができ、少ないところでは実施も市町村支援もできない状況にあることがわかった。また、学校における保健教育については、実施主体が学校にあるため、実施の有無と保健婦数はあまり関連がないと考えられた。

2 乳幼児保健

乳幼児保健の領域における、各事業の実施の有無と保健婦数との関連をみると、保健所が実施も支援もしていないのは、保健婦数の少ないところの方が多という全体的な傾向があった。各事業毎にみると、特に、1歳6か月健診(表2)、遊びの教室(発達指導)(表3)、乳幼児歯科保健事業(表4)、多胎児育児教室(表5)で保健婦数との関連に有意差がみられた。1歳6か月健診では、市町村支援(一部支援を含む)をしているのは、保健婦数の多いところの方が多く、支援も実施もしていないのは保健婦の少ない保健所の方が有意に多かった。また、遊びの教室(発達指導)では、保健所が実施しているところは、保健婦の数の多い程多く、保健婦数10人以上は、4人未満に比べて約3倍の割合で実施していた。一方、支援も実施もしていないのは、保健婦の少ないほど多かった。さらに、乳幼児歯科保健事業は、保健婦数が多いほど保健所で実施している傾向にあり、市町村支援については、保健婦10人以上のところは他に比べて2から3倍の割合で行っていた。多胎児育児教室については、全体の81.5%が実施も市町村支援も行っていない項目であるが、保健所で実施しているのは比較的保健婦が少ないところであった。

保健婦数の多い保健所は、遊びの教室や乳幼児歯科保健事業なども実施し、市町村事業である1歳6か月健診の支援も実施できるが、保健婦数が少ないところでは、事業の実施も支援もできない現状にあることが浮き彫りにされたといえる。

3 市町村支援の実態

市町村支援の実態を、母子保健計画や研修、専門業務に関する事業の支援、療育システムの確立、調査研究などからみると、全体的に管内人口に対する保健婦数による差は少な

かった。有意な差が見られたのは、母子保健計画の策定と専門業務に関する事業の支援においてのみであった（表 6）。市町村の母子保健計画の策定は、全体の 13.3%が支援していると回答しており、保健婦数が少ない 4 人未満のところは 23.4%と最も多く、ついで保健婦数の多い 10 人以上の保健所で、14.8%であった。これは、母性保健や乳幼児保健の領域の事業の実施の傾向と相反する傾向を示していた。マンパワーが少ないところは、日常の事業の支援というよりも、地域の保健計画に支援・参画することによって、母子保健全体を対象に保健所の機能を発揮していく方法が展開されていることが考えられた。

また、専門的業務に関する事業の支援は、他の項目に比べて市町村支援を行っている割合の多い項目であるが、保健婦数でみると、保健婦数が少ない 4 人未満と多い 10 人以上のところは、ほぼ 45%前後であるのに対し、7 人未満は 65.5%、10 人未満は 56.9%と支援の割合が高くなっていた（表 7）。母性保健や乳幼児保健の領域における保健所の事業実施状況から、保健婦数の多い保健所では専門的業務は直接実施している傾向があることから支援の比率が他に比べて低くなり、保健婦数の最も少ない保健所と同程度の比率になっていることが考えられる。

4 母子保健活動の課題

母子保健活動の課題について、保健婦数によって差の見られたものは、「市町村スタッフと一緒に事業ができない」と「市町村の企画に関われない」という課題についてであり、どちらも保健婦の数の少ないところほど多かった。「市町村スタッフと一緒に事業ができない」と回答している保健所のうち保健婦数 4 人未満のところでは、10 人以上の保健所の倍以上、56.3%であった（表 8）。また、「市町村の企画に関われない」という課題を示したのは、保健婦数の少ないところほど多く、4 人未満で 64.1%、10 人以上では 36.1%であった（表 9）。

これらは市町村との関係におけるもので、保健所独自の業務上の課題や関係機関全体のことについては保健婦数との関連は認められなかった。市町村の事業や企画について保健所が関われるかどうかは、保健婦のマンパワーに影響されることが考えられた。

5 地域のニーズ

地域のニーズについて、保健婦数と関連のあったのは、システムづくりの母子保健情報・健診の精度管理と市町村研修であった。母子保健情報・健診の精度管理については、「大いにある」と回答している保健所は全体の約 85%であるが、保健婦数別にみると、「大いにある」は保健婦数が多いところが多く、少しあると答えたのは保健婦数の少ないところ程多かった（表 10）。また、実施したいかという設問に対して、「ぜひやりたい」では 7 人未満のところは最も多く、「できればやりたい」「やりたくない」は、最も少ない 4 人未満の保健所であった（表 11）。

このように、システムづくりの母子保健情報・健診の精度管理においては、保健婦数の多いところの方が積極的に取り組み、少ないところでは消極的な姿勢になっていることが

窺えた。

市町村研修のニーズに関しては、保健婦数の少ない保健所は、他に比べて、「大いにある」と答えた割合が少なく、「少しある」、「あまりない」、「全くない」が多くなっていた。また、市町村研修を「ぜひやりたい」は、7人未満と10人以上が多く、「やりたくない」と回答したのは、全体では3.7%であるが、4人未満では12.5%が「やりたくない」としていた（表12）（表13）。

市町村研修のニーズについても、システムづくりの母子保健情報・健診精度管理と同様に、保健婦数の少ないところではニーズが少ないと捉えており、取り組みについても消極的であることがわかった。

表1) 妊婦訪問指導 (%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
保健所実施	2(3.1)	6(6.9)	7(12.1)	10(16.4)	25(9.3)
市町村支援	4(6.3)	4(4.6)	7(12.1)	11(18.0)	26(9.6)
一部支援	2(3.1)	4(4.6)	1(1.7)	3(4.9)	10(3.7)
していない	52(81.3)	70(80.5)	43(74.1)	37(60.7)	202(74.8)
無回答	4(6.3)	3(3.4)	0(0.0)	0(0.0)	7(2.6)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表2) 乳幼児健康診査(1歳6カ月児) (%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
保健所実施	2(3.1)	2(2.3)	2(3.4)	5(8.2)	11(4.1)
市町村支援	3(4.7)	7(8.0)	5(8.6)	11(18.0)	26(9.6)
一部支援	8(12.5)	14(16.1)	15(25.9)	18(29.5)	55(20.4)
していない	50(78.1)	62(71.3)	33(56.9)	26(42.6)	171(63.3)
無回答	1(1.6)	2(2.3)	3(5.2)	1(1.6)	7(2.6)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表3) 遊びの教室(発達指導)

(%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
保健所実施	11(17.2)	30(34.5)	25(43.1)	35(57.4)	101(37.4)
市町村支援	4(6.3)	3(3.4)	3(5.2)	2(3.3)	12(4.4)
一部支援	5(7.8)	8(9.2)	3(5.2)	4(6.6)	20(7.4)
していない	43(67.2)	43(49.4)	25(43.1)	18(29.5)	129(47.8)
無回答	1(1.6)	3(3.4)	2(3.4)	2(3.3)	8(3.0)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表4) 乳幼児歯科保健事業

(%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
保健所実施	14(21.9)	18(20.7)	15(25.9)	22(36.1)	69(25.6)
市町村支援	8(12.5)	8(9.2)	5(8.6)	15(24.6)	36(13.3)
一部支援	4(6.3)	4(4.6)	8(13.8)	2(3.3)	18(6.7)
していない	35(54.7)	52(59.8)	28(48.3)	21(34.4)	136(50.4)
無回答	3(4.7)	5(5.7)	2(3.4)	1(1.6)	11(4.1)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表5) 多胎児育児教室

(%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
保健所実施	11(17.2)	12(13.8)	7(12.1)	2(3.3)	32(11.9)
市町村支援	0(0.0)	1(1.1)	0(0.0)	3(4.9)	4(1.5)
一部支援	4(6.3)	0(0.0)	1(1.7)	1(1.6)	6(2.2)
していない	48(75.0)	70(80.5)	48(82.8)	54(88.5)	220(81.5)
無回答	1(1.6)	4(4.6)	2(3.4)	1(1.6)	8(3.0)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表6) 市町村母子保健計画の策定

(%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
はい	15(23.4)	7(8.0)	5(8.6)	9(14.8)	36(13.3)
いいえ	49(76.6)	80(92.0)	53(91.4)	52(85.2)	234(86.7)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表7) 専門的業務に関する事業の支援 (%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
はい	28(43.8)	57(65.5)	33(56.9)	28(45.9)	146(54.1)
いいえ	36(56.3)	30(34.5)	25(43.1)	33(54.1)	124(45.9)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表8) 市町村スタッフと一緒に事業ができない (%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
そう思う	36(56.3)	35(40.2)	20(34.5)	15(24.6)	106(39.3)
思わない	25(39.1)	51(58.6)	36(62.1)	41(67.2)	153(56.7)
無回答	3(4.7)	1(1.1)	2(3.4)	5(8.2)	11(4.1)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.01

表9) 市町村事業の企画に関われない (%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
そう思う	41(64.1)	42(48.3)	31(53.4)	22(36.1)	136(50.4)
思わない	20(31.3)	44(50.6)	25(43.1)	35(57.4)	124(45.9)
無回答	3(4.7)	1(1.1)	2(3.4)	4(6.6)	10(3.7)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表 10) システムづくり、母子保健情報、検診精度管理のニーズ (%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
大いにある	16(25.0)	44(50.6)	21(36.2)	31(50.8)	112(41.5)
少しある	32(50.0)	35(40.2)	27(46.6)	17(27.9)	111(41.1)
あまりない	10(15.6)	5(5.7)	3(5.2)	8(13.1)	26(9.6)
全くない	4(6.3)	1(1.1)	2(3.4)	0(0.0)	7(2.6)
無回答	2(3.1)	2(2.3)	5(8.6)	5(8.2)	14(5.2)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.01

表 11) システムづくり、母子保健計画、検診精度管理の実施 (%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
是非やりたい	8(12.5)	33(37.9)	13(22.4)	20(32.8)	74(27.4)
できればやりたい	41(64.1)	44(50.6)	33(56.9)	31(50.8)	149(55.2)
やりたくない	10(15.6)	5(5.7)	4(6.9)	3(4.9)	22(8.1)
無回答	5(7.8)	5(5.7)	8(13.8)	7(11.5)	21(7.8)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.01

表 12) 市町村支援、研修のニーズ

(%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
大いにある	22(34.4)	50(57.5)	26(44.8)	34(55.7)	132(48.9)
少しある	28(43.8)	30(34.5)	22(37.9)	15(24.6)	95(35.2)
あまりない	10(15.6)	3(3.4)	4(6.9)	5(8.2)	22(8.1)
全くない	2(3.1)	0(0.0)	1(1.7)	0(0.0)	3(1.1)
無回答	2(3.1)	4(4.6)	5(8.6)	7(11.5)	18(6.7)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

表 13) 市町村支援、研修の実施

(%)

	4人未満	7人未満	10人未満	10人以上	合計
是非やりたい	23(35.9)	41(47.1)	23(39.7)	30(49.2)	117(43.3)
できればやりたい	26(40.6)	39(44.8)	26(44.8)	22(36.1)	113(41.9)
やりたくない	8(12.5)	1(1.1)	0(0.0)	1(1.6)	10(3.7)
無回答	7(10.9)	6(6.9)	9(15.5)	8(13.1)	27(10.0)
合計	64(100.0)	87(100.0)	58(100.0)	61(100.0)	270(100.0)

P<0.05

4. 今後の活動について

1) 今後実施したい活動について

今後保健所において実施したい母子保健活動について、自由記載で回答をもとめたところ161活動が上げられた。その活動を保健所機能として提言されている①体制の整備、②専門的業務、③情報収集、④調査・研修、⑤広域的業務、⑥市町村の支援・研修の6項目をもとに分類、整理した。また分類にあたって①の体制の整備は連携として、②の専門的業務はモデル開発として、④調査・研修には精度管理（評価）を含めて、⑤広域的業務はシステム作りとしてとらえた。各項目に対する解答数は以下の通りで、最も多かったのは②の専門的業務としてのモデル開発、ついで⑤広域的業務、④調査・研修の精度管理であった。

(1) 体制の整備（連携）

回答数は12活動である。各事業の実施に基づき、所外では医療機関、学校、助産婦等、所内では他課や他の事業との連携・連絡の必要性や要望が多く述べられている。今日的な母子保健の問題解決には、地域に存在する関係機関が有機的に関わるのが必須であり、保健所自身がこのコーディネーター役割を意識することがより重要と考えている現れといえる。

専門的業務（モデル開発）

今後実施したい活動で最も多く61事業の回答が寄せられたのがこの機能に関するものであった。具体的には未熟児や多胎児の育児支援事業が一番多く、その中でも極小未熟児への支援などとより高度専門性の高い対象が選択されてきている。2,500g未満の児の出生が増加傾向にあり平成10年では8.1、そのうち1,500g未満児の出生は0.6で有るところから見て、各市町村でフォローするには対象が少なすぎることにのみなり保健所単位での管理がより適切といえる。また多胎の場合もその頻度からいって同様な解釈が成り立つ。そのため今のところはその任を保健所が担うことがより合理的ともいえるのでこのような結果になっていると考えられる。次いで多いのが療育に関する事業であり（広域的機能でも多数を占めている分野）、これは従来から保健所事業として位置づいていたものである。しかし、地域療育として質の高いサービスを提供する

までになかなか至っていない現状もあった。多くの場合、対象児は施設と繋がっているため保健所での療育の利用は低い。そのため、どのような方向がより保健所らしい療育となるのか、それぞれの地域特性を生かしたモデル事業を展開したいという意欲が示されていると考える。また、上記に述べた未熟児や多胎児出生の増加などから新たなニーズの出現も十分考えられることから、各事業を連携させた総合的な保健所療育が必要となると考える。そのほか、今日的課題である虐待に関する支援事業や在日外国人母子への支援などもマンパワーの確保や機動力、他機関との連携の取り安さなどの点で保健所が率先していこうとする事業になっているようである。また、母子保健の拡大による女性のライフサイクルへの支援として思春期や更年期へのアプローチも保健所で上げられており、いわゆるリプロダクティブ・ヘルスへの実際的支援方法が事業を通して全国に示されることを期待したい。

(3) 情報収集

回答数は4事業であり、他の事業に活用するための情報収集と分析をするというものがほとんどであるが、住民に社会資源の活用を容易にする冊子作りを行う事業もあり、保健所の地域への貢献と言う意味で集積情報をフィードバックする事は意義のあることだと考える。

(4) 調査・研究

この機能は、3番目に回答の多い分野である。実態把握としての調査・研究をしていくこととが12件、母子保健の評価としての精度管理のあり方を検討する事もここに位置づけたが19件であった。

実態調査では、低出生体重児・未熟児、多胎児の出生予防等に関するもの4件、子育てに関するもの2件、小児生活習慣要望事業からの関連調査や低身長児のQOL等今後のあり方をさぐる資料となるものが多々見られる。

評価としての精度管理では、母子保健活動計画事態の評価が中心となっている。これは平成9年に母子保健事業が市町村に移管され、それに伴って策定された計画の見直しの時期にきているのも事実であろうと考える。市町村が評価を行うに当たって、どんな情報をどのように収集し、評価尺度は、分析は如何に行うか等、実際的な面で保健所が果たす役割が大きいことが示されているのであろう。また、今後はサービスの質に注目して評価する方向になると必要が

あるので、精度管理が質を正しく評価できる指標を持つ必要が有るだろうし、その開発に努力しなければならないと考える。

(5) 広域的業務（システム作り）

この機能は、2番目に回答の多い分野で43事業があった。その中で療育のシステム作りに関するものが最も多くみられた。藤内は、療育システムの構築に3本の柱となる事業、①保健所療育、②地域療育システム推進会議、③グリーゾーン対策があり、それを有機的に組み合わせることが保健所はできるといっている。そこからみて療育は保健所事業として適したものともいえる。そのためか専門的業務（モデル開発）にも多く上げられていたが、逆にこれだけ上げられると言うことは、現在効果的に活動がなされていないことも示しているのではないだろうか。専門的業務（モデル開発）の療育は3本柱の①に当たり、ここでの療育は地域療育のシステムをつくり・確立することが多くを占めているが、②でいう会議もその中に含まれると思えるので、3本柱の②と捕らえる。③は、未熟児や多胎児、要フォロー児の体制確立等が該当すると考え、療育に関する保健所の役割・機能と言われる事項が今後の活動にも上げられている。そのほか、虐待予防や対応に関するシステム作り、ハイリスク児やその親、児を無くした親への支援システム作り、市町村支援のシステム作り、母子保健情報管理システム作り等、母子保健の問題を先取りし他機関とネットワークを構築する役割が保健所には存在すると認識していることが伺える。

(6) 市町村の支援・研修

この機能の支援では9件が上げられているが、市町村母子保健計画とその評価への支援が5件、母子事業への支援が3件、心と体の教育等への支援1件である。保健所が行う保健計画への企画・調整支援は重要なものとするが、数的には多くなく、市町村からの要請がないことには保健所独自に行動を起こすことの出来ない現状が浮き彫りになっているのではないかと考える。研修では4件上げられ、母子保健に関わる職種の研修がそのほとんどである。

(7) その他

保健所の機能に直接結びつかないものをまとめると、保健所の母子保健活動に対して肯定的な姿勢と、否定的な姿勢がみられた。前者は、保健所の機能を発揮するため自助努力が必要、保健所役割を見直すため意識改革が必要、両者の役割分担を共有するため取り組み、学校や医療機関から期待される領域を探る、出生から思春期に至る一貫した対策などを懸命に取り組んでいこうとする姿勢が伺える。後者は現状では限界があり実施が困難、マンパワーと予算面で厳しい、市町村に大半が移譲された今何をすべきか、実施したいことはたくさんあるが口しか出せない現状、老人保健が中心で母子保健は手薄、引き続き支援が必要なものが有ると思うが・・・など、まだ保健所としての母子保健に対する姿勢が見いだせずにいる状況が感じられる。活動ではないが、母子保健事業体系からもれる対象者がどのようにサービスが受けられるかと言う問題を提起している保健所もある。

2) 今後受けたい研修の内容について

希望研修内容は、1)の今後実施したい活動に準拠し、虐待に関する研修と療育に関する研修、保健所機能に関するものが最も多く18件であった。次いで思春期に関する研修が8件、カウンセリングの研修と調査・研究の研修が7件、多胎児・未熟児の研修、妊婦・外国人母子保健の研修、遺伝相談の研修等であった。その他、アレルギー疾患関連研修、不妊、STDや政策研修や他県での保健所の取り組みを学びたい等が上げられていた。母子保健と言っても多方面に渡る分野の研修を希望していることが解る。今日的母子保健の問題である虐待は、医療職者の基礎教育においてもまだ十分に教授されておらず卒後教育に負う部分が多いのでニーズが高いことは十分に考えられる。今後は基礎